

あし

ハイキングクラブ



ちんぐるま

第362号

2019年12月12日発行

先月の山行

- ☆ 11月10日(日) 一乗城山～白樺
- ☆ 24日(日) 大谷山～(マキノから)

12月の予定

- ☆ 8日(日) 木の芽峠～鉢伏山～
- ★ 12日(木) 忘年会 味美家
- ☆ 22日(日) 三里山
- C L 宮本重信 7時カネキ運輸

1月の予定

- ☆ 2日(木) 日野山 菅谷～牧谷峠
- C L 7時カネキ運輸
- ★ 9日(木) 例会
- ☆ 12日(日)
- C L
- ☆ 26日(日)
- C L

冬季は積雪を考慮して決定します。

<https://asihiking2.jimdo.com/山行計画-1>

を検索して下さい。

山行計画書を提出して下さい

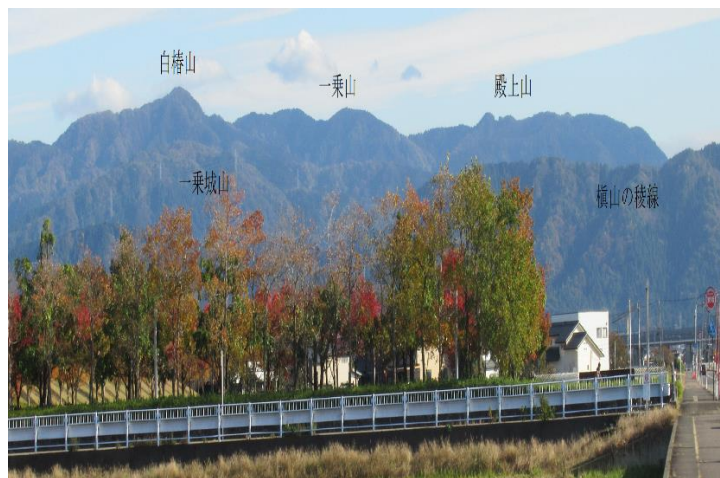
クラブ山行の場合はリーダーが、個人山行の場合はそれぞれで山行前日迄に宮本会長まで。

[山行報告]

城山 435m～白樺 720m～一乗山 740m～殿上

山 683m～一乗滝

日 時 2019年11月10日 晴れ



- 写真は、自宅付近の県立図書館からの写真です。写真右側下から一乗城山に登り、そこから大きな三角の白樺山、右の一乗山、次に殿上山へと登り、右端の下りを下ったのだろう。写真に山の名前を記したが、一乗山は二つのどちらのピークか、殿上山もどのピークかよく分からない。こうしてみると長い距離に見える。その割に楽で短時間だったのはアップダウンが少なくて稜線歩きと暑くなかったからだろう。私のスマホにダウンロードした歩数計アプリソフトでは29122歩、22.4kmとなっていた。歩いたコースが自宅からいつでも眺められるのは良いものだ。

見渡すと、まだ歩いていない山並みが見える。近くなので、調べて歩いておきたい。一乗谷に降りてからのBさん準備の豚汁 みんなで囲んで温かくておいしかったです。いつもありがとう。(miya)



今回の山行は福井市内から 10k と近く昼過ぎには下山予定なので荷物も身軽に食料も水、パンのみ「本当はダメなんですからネ!」7時あさくら水の駅集合、車2台を一乗滝駐車場に置き近くの八幡神社から登山開始。朝霧で視界不良だが快晴の前兆です。城山に着く頃には霧もハレ福井市内を一望、遠くに日本海まで見える。相手を早く発見出来る最適な場所で戦国大名朝倉氏が5代100年にわたって築き上げた山城も百戦錬磨の織田軍には勝てないのは当然の結果でしょう。

小休憩の後、白樺山へ、この季節の稜線歩きは落ち葉で足に優しく最高です。ことなく山頂に、山行予定はここまでだが天気がいいのでまだまだ足を伸ばす。気分は戦国ロマン武将なのか・・・;一乗山から殿上山へ順調にここから一乗滝へだが沢山の林道に迷い込む(スマホ地図も里山の落とし穴があった。)山の三角点を中心なので山の端までは載っていない。ウロウロしていると尾花キャンプ場の看板を見つけた。スマホ地図で検索すると鯖江河和田?山の道迷いは引き返しが原則だが僕は山を下りて時間はかかるけど一乗滝に戻った方が安全と考え林道を直進した。すると2ヶ月前に開催された朝倉トレイルマラソンの白いリボンを発見、無事一乗滝に着きました。そこで遅いランチの豚汁が空腹に身に染みたかな・・・帰り道、朝倉復元町並みは観光客で賑わっていました。

下調べをちゃんとしないと危険性がある山行でしたが皆さんよく歩き秋を満喫しましたネ。

三国山 876～赤坂山 824～大谷山 814

滋賀県高島トレイル

日 時 2019年11月24日

今回の山行は愛発(あらち)が起点の高島トレイルコース。6時福井発、高速道路途中のサービスエリアで鯖江女子2人と合流する。7時30分黒河林道前着、1台をマキノ高原駐車場に置き登山開始。

天気もいいし気温もこの時期としては高い、1時間で黒河峠に着く。高度を上げてここからが広がっていく眺望のよさが本コースの魅力かな・・・。ことなく三国山へ今回の山行最高峰、その後あらあらしい岩肌の明王の禿がダイナミックでした。11時には赤坂山へ展望はバツグンだったが愛知県からの団体様に場所をおされ集合写真を取り忘れしました。大展望の山頂をあとに寒風に向かう、左側に琵琶湖、右側に日本海が見える風の通り道になるはずですね。見晴らしい場所にてランチタイム今回は水餃子でした。いつもありがとうございます。その後5人は早足で大谷山に向かう事に、私達3人はゆっくり休んで下山しました。途中での紅葉が心の余裕なのか鮮やかに輝いていた。

あしハイの先輩達がまだ入会間もない私達の為に、まるでマジックのように下山する所に車をまわしてくれて感動したけれど今回は僕が車をまわす事になり会が継承されてほんの少し恩返し出来たと嬉しく思いました。^^;メタセコイア街路樹も先輩達が連れていってもらい同じ事をさせて頂きました。



「編集後記」

日本勤労者山岳連盟発行「登山時報」では、労山会員の皆さんからの投稿写真を募集しています。

登山時報投稿写真係 <mailto:tozanjiho@jwaf.jp>